

自動車法規の正誤問題

【日本語】

分類番号の説明

分類番号	分類項目の内容
01	交差点の安全(信号のある交差点、信号のない交差点、歩行者の優先)
02	曲がります(左折、右折、Uターン)
03	走行中の注意事項 (安全な車間距離の保持、前方車両の状況に注意)
04	正確なライトの使用 (ヘッドライト、フォグランプ、方向指示器)
05	大型車両の運転と転回に注意する (インナーホイールの差、視界の死角、並走禁止)
06	貨物の積載 (落下や漏洩の防止)
07	事故予防および対処 (高速道路での二次事故の予防、救急の基本知識)
08	禁止行為 (飲酒運転、携帯電話の使用禁止、危険な運転)
09	車両点検 (装置、ライト)
10	その他 (踏切、自動車損害賠償保険、エコドライブ、特殊天候、運転倫理)

自動車法規の正誤問題

【日本語】

題 番 号	解 答	問 題
001	○	命を尊重するのは、ドライバーの最も重要な道德であり、常に通行人に気を配る必要がある。特に老若男女や身体障がい者を先に通らせること。
002	X	交通規則を守り秩序を守るのは優良ドライバーではあるが運転道德とは無関係である。
003	○	ガソリンに引火した時は、消火器を使うか、泥や砂、水に浸けた蒲団や衣服を掛けて消火する。
004	○	譲り合いと相手を許す気持をもって道德運転の高揚に努める。
005	○	狭い道での運転は、お互いに譲り合わなければならない。
006	○	青信号でも、ドライバーは信号を無視して走ってくる車や歩行者に気をつけなければならない。
007	X	前方に交通事故があつて怪我人が出てる。急いでいる場合は、怪我人を見て、聞いても構わず通り過ぎていく。
008	○	運転を行う前は、車の機能を点検、確認なければ為らない。運転中にも機能の異変に注意し、歩行者や他の車に気をつける。
009	X	後方車に追い越されたが、埃が酷いので自分も又その車を追い越し返す。
010	X	大雨で道路に水が溜まっている。歩行者もいるが、後方車の邪魔にならないように、加速して通過する。
011	○	発進、ギアチェンジ、カーブ、ブレーキなどは同乗者の安全の為に緩やかに行き、周囲の車両や歩行者の安全をも考える。
012	○	むやみにクラクションを鳴らすのは、騒音の元となり、道德的行為とはいえない。
013	X	飲酒後は視力、聴力、判断力が鈍るが、本人は気持ちがいいので、運転してもかまわない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

014	X	道路で故障した時、交通量が多い場合でも、渋滞の原因になっても交通安全に影響しても、現場で修理を済ませてから移動する。
015	X	運転歴が長く運転に自信がある者は、同乗者と歓談したり歌いながら運転しても安全に影響はない。
016	O	バスの運転は大勢の乗客の命を預かるのだから、色々な面で細心の注意が必要である。
017	O	運転歴が長い運転者は、スピードの出しすぎの怖さをよく知っているはずである。乗客が急いでいても安全を考慮して、加速せず、乗客に怖い教訓を話して聞かせる。
018	O	運転者に運転道徳がなければ、運転者自身の不幸であり、回りの人の不幸でもある。
019	X	お年寄りや身体の不自由な人が乗車してきた場合は追加料金を取ることができる。
020	O	夜間対向車が来たら、ライトを下向きにする。
021	O	後続車がクラクションやライトで追い越しを希望する合図をしたら、前方に障害がない限り、減速してライトか手で道を譲る合図をする。
022	O	乗客の忘れ物を見つけたら、すぐに所有者や最寄の警察へ届け出る。
023	X	お年寄りや身体の不自由な人がゆっくり横断していたらクラクションを鳴らして急がせる。
024	X	道に詳しくない外国人乗客がタクシーに乗る際、目的地のみを伝えた場合、任意に回り道をし、運賃収入を増やしても良い。
025	O	伝染病持ち或いは悪臭を放つ物品を持つ乗客が乗車する場合、やんわりと乗車拒否をしても良い。
026	O	路上に怪我人や病人を発見したら、直ちに 110 か 119 に急報する。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

027	X	運転中人と接触しても、相手が怪我をしていなければ、面倒を避ける為に、出来るだけ早く事故現場から立ち去る。
028	O	視力障害者が道を横断しようとしている時は、手助けや道を譲るなどして、彼らの歩行を優先する。
029	O	運転には心身ともに健康状態で臨み、運転中雑念、考えごとは避けドライブに集中する。
030	O	無事故、無違反は安全運転の主要条件である。
031	O	運転は一分一秒を争うのではなく、一分一秒気を抜かないで行う。
032	O	運転とは頭脳と両手を使う疲れやすい作業である。このため安全な運転をする為には規則正しい生活が必要である。
033	O	車の整備点検と交通事故には密接な関係がある。車両の各部分の点検やメンテナンスが安全運転の重要なポイントに成る。
034	X	車を走行中故障が発生して、安全運転に影響がでると考えられる場合でも、運転は続行する。
035	O	毎日運転する前に車両の保安を確認し、メンテナンスは定期的に行う。
036	O	交通規則は交通秩序と交通安全の要である。規則を十分に理解し、遵守することで交通秩序と安全が保たれる。
037	O	車を運転する前に、安全のために、車体の点検を行わなければならない。
038	X	運転者に求められるのはドライブテクニックで、交通規則の遵守はそれ程重要ではない。
039	O	積載物は適切に縛るべき。これは車の所有者と運転者の責任であり、危険を冒す確率も下がる。
040	O	疲労が溜まっている状態での運転は事故に繋がる。
041	X	心身が不健全な人でも車の運転は制限されない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

042	○	運転する際、いつでもどこでも安全に注意するべきである。
043	X	疲労時の運転は走行速度が落ちるが安全には影響がない。
044	○	空走距離に制動距離を加えた距離が停止距離である。
045	○	運転するなら飲まない。飲むなら運転しない。
046	○	交通事故による過失傷害致死は刑事、民事、行政の三方面から責任を問われる。
047	○	人身事故で過失傷害致死に問われた場合、刑事、民事、行政から責任を問われるので「服役か賠償金を払う」かどちらか一つを選ぶということは出来ない。
048	○	人身事故で過失傷害致死に問われた場合、刑事責任意外、民事倍償の責任も負わなければならない。
049	○	故意に起こした事故で死傷者が出た場合は殺人或いは障害罪になる。
051	○	日常の不適切な行為が運転時の悪い習慣となる。例えば、車間距離をとらない、蛇行走行、カーブで先を争う、スピード違反、あわてて運転する等はよく見る悪い運転の例である。
052	○	カーブで起こる事故の大きな要因は「曲がる時に方向指示器を灯してない」「進行方向を変更する合図を出さない」「後方車に気を付けない」などである。
053	○	車道に入る、或いは車線変更をする前に、ウィンカーを出し、バックミラーで確認し、頭を動かして隣の車道を直視して後方確認することで、バックミラーの死角を無くす。
054	○	高速道路を走行中のドライバーは左右両側及び至近距離の前方を見落とすことが多いので、視野を充分広げスピードの出しすぎに気を付ける。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

055	○	公路の長いトンネルは密閉化、地下化などの特徴を持つ特殊な空間であるため、火災が発生すると摂氏 1,000 度を超えることが多い。いったん事故が発生すれば、重大な災害に繋がる可能性がある。
056	○	長いトンネルの中では危険物の搬送、及び長さ、幅、高さ、重さが基準を超える荷物の運搬は禁じられている。
057	○	トンネルを走行中の車の窓からゴミを捨ててはいけない。
058	○	トンネルで安易に走行車線を変更することは禁じられている。
059	○	長いトンネル内で車を停めて給油することは禁じられている。
060	○	トンネルの中の照明が暗い場合はライトを点けて走行する。
061	○	トンネルの中で事故に遭遇した場合、直ちに道路わきにある緊急停車スペースに車を止め、警告灯を点滅させる
062	○	長いトンネル内で車が故障して停まり、空気が悪くなって有毒ガスの濃度も高くなった場合は、一旦エンジンを切って排気ガスの排出を抑える。
063	○	長いトンネル内で火災に遭遇したときは、落ち着いて、車をトンネルの両脇に止め、消防車や救急車の通路を確保する。
064	○	長いトンネルの中で火災が発生したら、エンジンを止め、救助隊員が車を移動しやすいように鍵はつけたままにして、全員貴重品を持って下車する。
065	○	長いトンネルの中で火災が発生したら、煙を吸い込まないように、身体を出来るだけ低くかがめて車の進行方向と反対の方向へ逃げる。
066	○	癲癇の患者は、医療機関の医師が発行した、最近の 2 年以内に発作がなかったことを証明する診断証明書を提出した場合、バイク運転免許及び小型普通免許の運転免許取得試験に参加できる。
067	○	アルコール、麻酔剤、興奮剤中毒患者は免許取得試験に参加できない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

068	○	小型トラックの積み荷の高さは、地面から 2.85 メートルを超えてはいけない
069	X	小型トラックの積み荷の高さは、地面から 3 メートルを超えてはいけない。
070	○	積み荷が「漏れる」「飛散する」「悪臭を放つ」ような積み方をしてはいけない。
071	○	座席以外に人を乗せてはいけない。
072	○	免許取得試験の技能（路上）試験は 70 点以上で合格できる。
073	○	車両は「ガタガタする」「ドアが閉まらない」など車体に破損があつてはいけない。
074	○	道路監理機関（公安委員会）の認可を受けずに、勝手に車両を牽引してはいけない。
075	○	道路交通管理を強め、交通秩序を守ることは、交通安全の要務である。
076	X	道路標識とは道路交通管制のことで、路面に書かれた警告、禁止、規制、指示などを表す線や文字のことである。
077	○	道路交通法違反の通知を受け取った場合は 15 日以内に指定された場所へ出頭し罰金を払えばよい。裁判所の判決を受ける必要はない。
078	X	大型トラックの免許で牽引車及び小型車の運転が出来る。
079	○	終身免許再取得禁止処分を受けた者は免許取得試験に参加できない（但し特定の条件を満たし、免許停止処分を受け、欠格期間を満了した者はこの限りではない）
080	○	同じ車道を車が前後して走行する時は後続車の運転者が先行車の動向に注意しつつ、いつでも急停止できるよう先行車両と一定の距離を持たなければならない。
081	○	免許取得者は、免許有効期間内であれば同一車種の国際運転免許証を取得できる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

082	○	特種車は専門用途での使用に際し、やむおえず人や品物を載せる以外、人や品物を載せて運ぶのに使用してはならない。
083	○	無効になった免許証は最寄の道路監理機関（公安委員会）に返上しなければならない。
084	○	運転者が死亡した場合、免許証は最寄の道路監理機関（公安委員会）に返還されなければならない。
085	○	荷物を積むときは、安定するように、しっかりと固定する。
086	○	規定違反、或いは不適切な手段で入手した免許証は、道路監理機関（公安委員会）によって免許を取り消されたうえ追徴金を請求される。
087	○	他国で発行された有効期間内の免許証を所有し、台湾滞在が30日を越えたものは監理機関（公安委員会）で手続きを済ませたあと、車の運転ができる。
088	○	自動車の所有者が運転者のアルコール濃度が基準値を超えていること、危険ドラッグ・覚せい剤などを使用していることを知りながら、運転を禁止しなかった場合、バイク保有者に罰金を科すほか、車両免許を2年間停止する。
089	○	運転者に連続8時間を越える運転をさせた車の所有者は3ヶ月の自動車免許停止処分となり当該車両のナンバープレートの使用を3ヶ月間停止される。
090	X	時間の無駄を短縮するために運転前の幾つかの点検は省略してもよい。
091	○	警音器は指定された音量を超えてはならない。
092	○	警音器を鳴らすのは一回を原則とする。
093	○	運転免許証は運転者が道路監理機関（公安委員会）に申請登録し試験に合格してから発行される。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

094	○	交通警官及び交通整理に携わる者に反抗し、死傷者を出した場合、罰金刑及び免許取り消しのほか、終身免許取得試験へ参加することは出来ない。(但し特定の条件を満たし、免許停止処分を受け、欠格期間を満了した者はこの限りではない)
095	○	免許証を破損紛失した時は道路監理機関（公安委員会）に再発行の申請をしなければならない。
096	○	危険物資を積んでいる時は目立つところに「危険物掲載」のシールを張り、駐車は日陰で涼しく広い駐車場を選んで他の車と距離を置いて停車しなければならない。
097	○	バスは乗客が乗り降りする時には車を道路の右端に沿って停車し、他車の邪魔にならないようにする。
098	○	狭い坂道で、下りの車が上りの車に道を譲らない、或いは、下りの車が坂道を降りきっていないのに先を争って上りの車が坂を上る、山道で山側の車が崖側の車に道を譲らない場合は罰金刑となる。
099	○	小型バスの定員は運転者を含めて9人である。
100	X	プロの運転免許証取得者は自分から2年に一度検査試験を受けなければならない。
101	○	道路交通管理処罰条例の制定は道路交通管理、交通秩序を維持し交通安全を強化する為のものである。
102	X	歩道橋、地下道、横断歩道などはやむおえない場合のみ歩行者の使用が許可される。
103	○	交通標識及び車線標示は警戒、規制、指示等に有効である。
104	○	交通事故を起こしたら、負傷者がいないときでも、規定にに従って事故処理をしなければならない。もし、届出を怠った者は罰金刑のうえ免許停止になる。
105	○	運転者は交通標識、車線標示、信号を守り、交通警察の指示に従うほか、交通整理をしている人の指示にも従わなければならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

106	○	廃棄登録を受けた車は運転してはいけない。もし再度車が使用された場合は車の所有者が罰金を払い、その車は没収される。
107	○	無免許の人に運転をさせた運転者は、免許停止処分となる。
108	○	交通規則を無視して横断歩道を通過し歩行者を死傷させた場合、運転者の刑事責任は50%加算される、
109	○	自動車事故の検挙、負傷者の救護活動、及び優良ドライバーは政府から奨励される。
110	○	交通事故を起こし、重傷者、死亡者を出したにも関わらず現場から逃走した場合は免許を取り消され二度と運転免許を取得できない。 (但し特定の条件を満たし、免許停止処分を受け、欠格期間を満了した者はこの限りではない)
111	×	トラックの運転室、小型バスの前座席の乗車人数に制限はない。
112	×	信号を無視して重傷者を出す事故を起こしても免許停止にはならない。
113	×	交通事故を起こしたら、負傷者がいないときでも、規定に従って事故処理をしなければならない。届出を怠った者は、罰金刑のうえ免許取り消しになる。
114	○	高速度道路、管制ステーションのある道で指定された安全距離をとらなかった場合台湾元3000元から6000元の罰金が科せられる。
115	×	最低速度を下回っても違反にはならない。
116	×	免許取得試験の交通規則合格基準は90点である。
117	○	青少年売春防止法条例に抵触したり、銃砲刀剣弾薬管制条例等に違反して暴力団対策法に抵触したことがある者はタクシーの運転免許登記をしてはいけない。
118	×	運転免許証を他人に貸してもかまわない。
119	×	普通免許と大型免許の勉強は同じである。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

120	X	貨物トラックの積荷の幅は車体の 50%までなら超過してもかまわない。
121	O	運転者は連続 8 時間以上運転してはいけない。
122	X	大型バスの免許でトレーラーの運転もできる
123	O	交通規則に違反して事故を起こし重傷者を出した者は免許停止処分となる。
124	O	高速料金や橋の通行料金を払わず料金所の係員に怪我を負わせた者は免許取り消しとなる。
125	O	快速道路へ歩行者や速度の遅い車が入ってきて事故になり死傷者が出た場合、安全運転をしていた運転者の刑は軽減される。
126	X	飲酒運転で事故を起こし死傷者を出した場合は免許取り消しとなり、むこう 1 年は運転免許証の取得試験に参加できない。
127	O	小型トラックは積荷の上げ下ろしを手伝う作業員を同乗させなければならない。運転手を除き、二名を越えてはいけない。
128	O	乗用車を利用した犯罪で、懲役刑が確定した者は免許を取り消され、終身再度免許取得試験を受けることは出来ない。(但し特定の条件を満たし、免許停止処分を受け、欠格期間を満了した者はこの限りではない)
129	X	貨物トラックの積荷の長さは、車の前方 2 メートルまで突き出てもよい。
130	X	ヴァンの積み荷は長さ幅共に 30 センチまで車体からはみだしてもよい。
131	O	トラックは積み荷が規定の長さを越える場合を除き、テールゲートをしっかり閉めなければならない。
132	X	永久免許取り消し、免許停止処分を受けても、違反者再教育を一ヶ月受ければ免許取得試験を受けることができる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

133	○	免許停止、免許取り消し処分を受け、欠格期間を満たしていないものは免許取得試験を受けることは出来ない。
134	X	免許停止、免許取り消し処分を受け、欠格期間を満たしていなくても、罰金を払えばすぐに免許取得試験を受けることが出来る。
135	X	自動車の運転者の1年間における累計違反点数が6点以上となった場合、道路交通安全講習を受けなければならない。
136	○	視力張力など身体の適正検査、運動能力検査、筆記試験の各成績は1年間保留される。
137	○	右折は、曲がる前に前後の右ライトを点滅するか、左腕を上げ掌を右に曲げて合図しなければならない。
138	○	警音器を鳴らすのは一回を原則とし、毎回0.5秒を越えてはならない。
139	○	「つづら折り」「トンネル」「坂道」「狭い道」「学校」「病院」などの標識がある道で泥濘、水溜りが有る場合、工事中の道では速度を落とし常に停車できるようにしておく。
140	X	夜間走行するときは上向きのライトを点けなければならない。
141	○	消防車、救急車、パトロールカー、工事救助車などのサイレンを聞いたら、方向を問わず、すばやく道を開ける。また、これらの緊急自動車の後に付いて運転することは禁じられている。
142	X	交通量の多いロータリーでは、内側の車を優先させなくてもよい。
143	X	両側二車線の道路で、中央線がある区間では、反対方向の車線に入ってもよい。
144	○	両側二車線の道路で追い越すときは中央線がある場所で行う。但し二台並んで競走してはいけない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

145	X	走行速度は速度制限標識或いは車線表示の規定に従う。標識或いは車線表示の無い道路では時速 40 キロを越えてはいけない。しかし、車両通行帯、車線境界線、進行方向区分線が設けられていない道、高速と低速車線が分かれていない道では時速 30 キロを越えてはいけない。
146	O	走行速度は速度制限標識或いは車線表示の規定に従う。標識或いは車線表示の無い道路では時速 50 キロを越えてはいけない。しかし、高速と低速車線が分かれてい道では時速 40 キロを越えてはいけない。
147	X	交通量の多い所では、安全のために、むやみに警音器を鳴らしてもよい。
148	X	幼稚園児用車、スクールバス、障害者用特種車両、教習所の車などには道を譲らなくてもよい。
149	O	臨時停車とは 3 分未満の停止で、すぐに運転できる状態である
150	O	交差点の入り口で曲がる時、交通整理をする人と信号が有る場合は交通整理をする人の指示に従う。
151	O	車を発進するときは走行中の車両と歩行者を優先する。
152	O	歩行者用の横断道路は枕木模様や縞模様が描かれ、歩行者が安全に道を渡れる場所である。
153	X	運転中に手持ちで携帯電話、パソコンなどの装置を使い、電話を掛ける、通話、通信など、運転に支障をきたすことをした者は新台幣 1000 元の罰金刑となる。
154	O	運転者が精神疲労、病気、寝不足、注意を集中できない時は車を運転してはいけない。
155	O	道路に駐停車する時、霧、雨、雪、砂嵐、日食に遭遇したら停車灯を点けるか光を反射する標識（停止標示器材）を置かなければならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

156	○	同じ車道を前後して走る車の車間距離は、追い越す場合を除いて、常に急ブレーキが踏める距離を保たなければならない。
157	○	山道で行き違うときは山側の車が道の外側は走る車に道を譲る。
158	○	追い越す時は左のライトで合図を出し、進路変更をする。追い越す車との間に左側 50 メートル以上の間隔を保ち充分前に出てから右側ライトで合図を出して進路変更する。
159	○	道路標識や信号もなく、交通整理人員も居ない交差点で曲がる時は、左側の車が一時停止して右側の車を先行させる。
160	○	タクシー乗り場の有る場所では指定された場所で客を車に乗せ、それ以外の場所で客を乗せてはいけない。
161	X	タクシーは乗車拒否は出来ないが、故意に回り道をするのは構わない。
162	○	運転する時は、運転免許など法定証明証を携帯していなければならない。
163	X	運転時に修理用工具を携帯する必要はない。
164	X	車を発進する時は方向指示器を点けなくてもよい。
165	○	道路交通管理処（公安委員会）から罰金刑が確定し、支払い請求を受け取った遅い車（自転車等）の所有者と運転者、歩行者や道路交通を妨害した者が、罰金納付期限を過ぎても罰金を払わない場合は法にもとずき送検される。
166	○	業務執行中の消防車、救急車、警備車、工事救助車は速度制限を受けない。
167	○	一方通行の道路を除き、右側通行が原則だが、やむおえず左側通行をしなければならない時はスピードを落とし、反対方向から来る車両及び歩行者にも注意しなければならない。
168	○	両側二車線の場合は車両通行帯内を走らなければならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

169	○	路側帯がある車道では、駐停車の準備或は臨時停車する車以外、路側帯に入ってはいけない。
170	○	業務執行中の消防車、救急車、警備車、工事救助車は片側二車線以上の道路では内側外側どちらでも走行できる。
171	○	片側二車線以上の車道で進路変更する時は、ライト或手で合図し、安全な距離を保たなければならない。
172	○	車道が一本だけの橋の上及びトンネル内では二台の車がすれ違ってはいけない。
173	○	交通量の多いロータリーでは内側の車道を走る車に道を譲る。
174	○	車を後退させる時はライトか手で合図し、ゆっくりと慎重に行く。他の車や歩行者にも気を付ける。
175	○	片側二車線以上の車道では、小型車は内側外側どちらの車道を走行してもいい。ただしむやみに走行車線を変更してはいけない。
176	○	片側二車線から一車線の道に入る時は直線車道の車を優先する。
177	○	片側二車線以上の車道では、駐停車準備或いは臨時停車以外で路側帯にはみ出したり、二本の車線を跨いで運転してはいけない。
178	○	左折右折専用道路がある交差点で左折右折専用道路を直進する車で占拠してはならない。
179	○	中央線がない道路、踏み切り、悪い道で、対向車と行き違う時は速度を落とす。
180	○	対向車が来たり、先行車二台が以上ある場合は追い越しできない。
181	○	同じ車道の車を追い越す時はクラクションを二回鳴らすか、方向指示器を一回点滅させる。先行車が速度を落とし進路を譲るか手で合図するのを待ってから追い越す。
182	○	後方車のクラクションを聞いたら進行方向に障害が無ければ減速して道を空けるか先を譲る合図をする。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

183	X	先を急いでいる場合は、公務実行中の消防車やパトカーの後ろに付いて運転してもよい。
184	X	交差点に交通整理をする人がいて、信号もある場合は、信号の指示を基準とする。
185	O	交差点で左折する時は、交差点の 30 メートル手前でライトか手で合図を出し内側車線か左折車線に入って、交差点の中央で左折する。先を争って対向車の道を占領して左折してはいけない。
186	O	高速分離帯がある道路で低速道路を進行中の車は左折できない。
187	X	高速分離帯がある道路で低速道路を進行中の車は右折できない。
188	X	交通量の多いロータリーでは、外側車道の車を優先する。
189	O	交差点に特別に設けられた車線標示、交通標識が有る場合はその指示に従う。
190	O	歩行者が横断する道に近づいたら速度を落して、歩行者が通っている時は停止してその人を先に通さなければならない。
191	X	横断歩道に歩行者がいる時でも、ゆっくり運転すれば通過してもかまわない。
192	O	鉄道に近づいた時、踏み切りの遮断機が下り始めている時や駅員が停止を指示している場合は一次停車しなければならない。
193	O	「踏み切りの鐘も鳴っておらず」「ライトも点滅してない」線路を渡る時は、左右から列車が来てないか耳と目で確認してから通過する。
194	X	踏み切りを横断する時は車間距離を保たなくてもかまわない。
195	O	交通管制が引かれている道路では管制規定を遵守する。
196	X	交通管制が引かれている道路は常に通行可能である。
197	O	「つづら折り」「坂道」「狭い道」「狭い橋」「トンネル」などの標識がある道や踏み切りでは転回ができない。
198	X	十分な広さがあれば、どこで転回してもよい。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

199	○	転回禁止、方向制限、追い越し禁止、方向変更禁止規制区間では転回できない。
200	○	左折禁止区間では転回できない。
201	○	転回する時は一次停車して左折のライトか手で合図を出し往来する車両の有無を確かめ歩行者に注意しながら回転をはじめる。
202	○	坂道を下る時はエンジンを止めずに、ギヤーを入れなくて車をスライディングさせる。
203	X	ガソリンの節約のために下り坂ではエンジンを切ってギヤーを入れずに運転する。
204	○	フェリーに乗り込む時は先着順に並んで順番を待つ。先を争ってはいけない。
205	○	フェリーに乗り込むトラックは重量が決められており、規定を超過した場合は荷物を降ろして別別に渡らなければならない。
206	○	夜間の走行で、街灯が充分明るい場合はライトを下向きにする。
207	X	夜間の走行で、街灯が充分明るい場合はライトを上向きにする。
208	○	「つづら折り」「狭い道」「坂道」「一方通行」などの標識がある区間では後退できない。ただし、車を通す、停車、運転をはじめるための後退を除く。
209	X	後退する時は長いクラクションを3回鳴らして他の車や歩行者に警告する。
210	○	空港、駅、埠頭、学校など公共の場所への出入り口に車を停めてはいけない。
211	○	先行車が減速や一次停車をする時は後続車にライトか手で合図しなければならない。
212	○	自家用車は、バスやタクシーの停留所に車を停めてはいけない。
213	○	他の車の通行に迷惑になる場所に車を停めてはいけない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

214	○	やむおえず、坂道で停車する時は、車が滑らないよう十分な注意が必要である。
215	X	街中で車が故障し、交通の邪魔にならない所まで移動できない時は、左右のライトか左側のライトを点滅すればよい。故障標識（停止標示器材）は置かなくてもよい。
216	X	街中で車が故障し、交通の邪魔にならない所まで移動できない時は、クラクションを鳴らして他の車に伝えればよい。
217	○	制限時速 40 キロの道路で車が故障し、交通の邪魔にならない所まで移動できない時は自動車の後方約 5 メートルから 30 メートルに故障標識（停止標示器材）を置かなければならない。
218	○	夜間、道路照明がない道路や薄暗い道に停車する時は駐車灯を点けるか光を反射する標識（停止標示器材）を置かなければならない。
219	X	夜間、道路照明がない道路や薄暗い道に停車する時は駐車灯を点けたり光を反射する標識（停止標示器材）を置いたりする必要がない。
220	○	停車してから車のドアを開ける時は、後ろから来る歩行者や車に気を付け、通り過ぎるのを待たなければならない。
221	○	駐停車時間、位置、方法、車種など、公安委員会或いは警察機構の特別な規定がある場合はその規定に従わなければならない。
222	○	業務執行中の消防車、パトカー等は駐車時間、駐車地点の制限を受けない。
223	○	危険物を運搬する時は車の前後に危険物の標識を掲げ、走行路線、走行時間なども規定を守らなければならない。
224	X	夜間、霧、雨、雪、砂嵐、日食の時は道端に駐車しなければならない。しかし駐車灯を点けたり光を反射する標識（停止標示器材）を置いたりする必要はない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

225	○	殺人、窃盗、ひったくり、強盗、恐喝、誘拐などの罪に問われ、刑が確定した人はタクシーの運転免許登録はできない。
226	○	制限時速 40 キロを越える道路区間で車が故障した時は、自動車の後方約 30 メートルから 100 メートルに光を反射する標識（停止標示器材）を置かなければならない。
227	×	2007 年 2 月から大型トラックの免許から直接トラクター、トレーラーの免許を取得した人は大型バスが運転できる。
228	○	大型バスの免許取得者は、大型トラック、バス、大型バン、、小型車、軽量エンジン付き自転車を運転することができる。
229	○	大型トラックの免許取得者は小型車、及び軽量エンジン付き自転車を運転することができる
230	○	交通違反条例の処罰を受けた者はその処分に不服の場合、処分を下したところを被告として、管轄の裁判所に訴訟を申し立てることができる。
231	○	職業用運転免許証をお持ちの 60 歳以下の運転手は発行日から毎年 3 年に一回再審査を行う。
232	○	貨物自動車の積み荷は車の全長を越えてはいけない。
233	○	ヴァンの積み荷は車からはみ出してはいけない。
234	○	規定された交通安全講習を受講しなかった低速車の運転者、および歩行者は罰金を払わなければならない。
235	○	消防車、救急車、パトカーのサイレンを聞いても道を譲らなかったり、後に付いて高速で運転をした者は違反点数が加算され、罰金を課せられる上、運転免許証を 3 ヶ月間没取される。
236	○	交差点で右折するときは、交差点の 30 メートル前でライトか手で合図を出し、外側車線に入るか右折車線に入って、道の入り口で右折する。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

237	○	交通規則違反で事故を起こし、免許停止処分を受けた人は道路交通安全講習を受けなければならない。
238	○	道路システムとは、道路、街道、路地、広場、廊下、公共の通路を指す。
239	○	アルコール濃度が基準値を超えた運転者が車を運転し、重傷や死者の出る事故を起した場合、罰金以外免許取り消しとなり、再度免許取得試験を受けることはできない。但し、特定の条件を満たし、免許停止処分が規定期間を満了した者が規定に従って飲酒運転予防教育やアルコール依存症の治療を受けた場合、この限りではない。
240	X	アルコール検査に協力しなかった運転者は新台幣ドル 30000 元の罰金を払わなければならない。
241	○	高速道路以外の一般道路で運転席、助手席に座っている者、あるいは小型車において後座席の乗客がシートベルトをしていない場合、運転者は新台幣ドル 1500 元の罰金を払わなければならない。
242	○	運転中に手持ちで携帯電話、パソコンなどの装置を使い、電話を掛ける、通話、通信など、運転に支障をきたすことをした場合は新台幣ドル 3000 元の罰金を払わなければならない。
243	○	自動車ドライバーが飲酒運転し、アルコール濃度が基準値を超えた場合、3 万元から 12 万元の罰金に処し、その場で自動車を保管場所に移動し、免許停止とする。
244	○	14 歳未満の道路交通管理処罰条例規定違反者は法定代理人か監護人が処罰を受ける。
245	○	大型車でトラフィックレコーダー／運転視界補助システムを搭載していない、搭載していても正常に機能していない、または不適切な使用で正確にデータを記録できない場合、罰金の他に臨時車両試験を受けなければならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

246	○	特種小型車の運転免許で大型車を運転した場合は、車両所有者と運転者にそれぞれ新台幣ドル 40000～80000 元の罰金が科せられ、違反記録に 1 点加点される。
247	○	18 歳未満の者が無免許で小型車或いはオートバイを運転した場合、罰金が科せられ、その場で運転を止められた上法定代理人か監護人同伴で道路交通安全講習会を受講しなければならない。
248	X	重量規定を上回る荷物の積載、牽引、或いは、重量制限を越える車両の橋の通過は、積み荷の軽減か通行禁止が言い渡され、超過重量に関わりなく一律新台幣ドル 10000 元の罰金刑となる。
249	○	車両は道路を逆送してはいけない。逆走した者は罰金刑の上、違反記録に 1 点加点される。
250	○	歩道を車で走行してはいけない。違反者は罰金刑のうえ違反記録に加点される。
251	X	急いでいた為に赤信号を無視した場合は規則違反減点 3 点は免除され罰金刑のみとなる。
252	○	左折禁止区間での転回は禁じられている。違反者は罰金刑のうえ違反記録に加点される。
253	X	ロータリーを回って転回するのは面倒である。 どうせ罰金や違反記録の加点对照にはならないから直接転回してもかまわない。
254	○	先行車が追い越し承諾の合図を出す前に追い越した場合は罰金刑となる。
255	X	規則違反減点が 1 年で 6 点を超えなければ一ヶ月の免許停止にはならない。従って交通規則は遵守しなくてもかまわない。
256	X	飲酒運転でアルコール濃度が規定を超えた場合は規則違反減点 2 点で済み、罰金刑はない。
257	X	違反記録は免許証には記載されないの、それ程気にしなくてもよい。交通規則違反はしてもかまわない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

258	○	車両の違反記録が3ヶ月で3回以上の者は該当車のナンバープレート（自動車登録証）を差し押さえられる
259	○	トンネルでは駐停車、臨時停車、後退、追い越しは禁じられている。
260	○	トンネル内では道路管制信号標識の指示に従って運転する。
261	○	トンネル内の運転速度は速度標識の指示に従う。
262	X	長いトンネル内で、渋滞或いは事故が発生した場合は脇の連絡トンネルを利用して転回し、出来るだけ早く現場を離れる。
263	X	高速道路或いは快速道路の加速車線は本線車道出入口の右側にあり、加速して本線車道を離れるのに使用する。
264	X	高速道路或いは快速道路の減速車線は本線車道出入口の右側にあり、減速して本線車道に入るのに使用する。
265	○	高速道路或いは快速道路では車道を横切って左折や右折をしたり車道及び路肩帯で転回することはできない。
266	○	高速道路或いは快速道路では特殊な状況に遭遇して減速せざるを得ない時以外、突然減速或いは車道で臨時停車、及び停車することはできない。
267	X	減速車線及び単車線のランプ部での追い越しは禁止されている。しかし、加速車線を徐行する車が道を塞いでいる場合は追い越してもよい。
268	X	インターチェンジシステムとは本線車線道入り口右側に設置された本線車道に入る前に加速する為の道路のことである。
269	X	ランプシステムとは本車線出入口右側に設置された本車線を離れる為に減速する道路のことである。
270	○	減速車線とは本線車道出入口右側に設置された本線車道を離れる為に減速する道路のことである。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

271	○	トラック、ミニバン、トラクターがロードメーターステーションに入る時は標識、車線標示に従って運転し、ステーション上で急ブレーキを掛けてはいけない。
272	○	本線車道とは、直進する車が走行する車道のことである。
273	×	高速道路及び快速道路を走行中、あらゆる車道、路肩で左折右折及び転回、逆走ができる。
274	×	高速道路及び快速道路を走行中、減速車線および加速車線、ランプ部で追い越しができる。
275	○	高速道路及び快速道路を走行中は高速道路、快速道路交通管制規則を遵守し、同時に交通安全規則も守らなければならない。
276	○	高速道路とは、出入り口で車の量が完全にコントロールでき、中央分離帯で往復車線が分離されており、他の道路とは立体交差する車両専用道路を指す。
277	×	高速道路には、低速車道、歩行者横断道及び横断歩道が設けられている。
278	○	インターチェンジとは高速道路と快速道路が交わる区間で高速道路と他の道路が接続する所である。
279	×	高速道路或いは快速道路では中央分離帯を利用して転回する。
280	○	高速道路及び快速道路の管轄区は路権が及ぶ範囲と他の道路との接続点を境界線とする。
281	○	高速道路及び快速道路で緊急事態が発生し運転の継続が困難な場合は速やかに車道を離れ、路肩に停車して救援を待つ。
282	○	高速道路或いは快速道路の両脇にある路肩に故障車を駐車できるのは最高2時間までである。
283	○	高速道路或いは快速道路では指定された場所以外で、乗客を乗り降りさせたり、積み荷を下ろしたりしてはいけない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

284	○	高速道路或いは快速道路の道路交通標識は、高速道路、快速道路用の特種標識以外一般の交通標識も使われる。
285	○	高速道路或いは快速道路の中央分離帯は往復方向の車道の間際に設けられる。
286	X	高速道路或いは快速道路を走行中、インターチェンジを行き過ぎてしまったら後退、あるいは転回して元の場所に戻ればよい。
287	○	高速道路及び快速公路管理機関について、国道の部分は交通部高速公路局の管轄であり、省道の部分は、交通部公路総局の管轄である。
288	○	高速道路或いは快速道路の速度規定は速度標識の指示に従う。
289	X	シリンダー総排気量 550CC 以上の大型自動二輪車は車の性能がよく、運転技術に自信があればいつでもどんな高速道路或いは快速道路を走行してもよい。
290	X	シリンダー総排気量 1200CC 以下の自動車は新車、中古車共に高速道路或いは快速道路を走行してはいけない。
291	X	現行の高速道路の最高速度制限は 120 キロである。
292	○	高速道路或いは快速道路を走行中、水切れ、電源切れ、燃料切れなどを起こしてはいけない。
293	X	高速道路或いは快速道路で事故などのために渋滞している区間を通過する場合は一時停止や路肩に駐車することができる。
294	○	高速道路或いは快速道路の内側車線は追い越し車線であるが、小型車は渋滞していない区間であれば規定最高速度での走行ができる。
295	○	高速道路で制限時速 90 キロ以上の区間を時速 80 キロ以下の小型車で走行する場合は近接する外側車線を走行し、先行車を追い越す場合は路側帯を利用する。
296	X	高速道路サービスエリアでの駐車は最高 12 時間までとする。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

297	○	高速道路或いは快速道路を走行する場合は天候に問題がなければ制限速度を守らなければならない。
298	×	濃霧、煙、大雨、強風の場合でも高速道路及び快速道路では最低速度制限 60 キロ以上を維持しなければならない。
299	○	ランプ及び加速減速車線では追い越してはいけない。
300	○	高速道路或いは快速道路で速さを競ったり、低速で 2 台並んで走行したりしてはいけない。
301	○	高速道路を走行中の運転手は心理的に緊張しているので、交通妨害に会うと慌てやすい。
302	×	高速道路を走行中、運転手は緊急事態に対する反応と処理能力に於いて影響は受けない。
303	×	高速道路を運転している時と平常時の運転者の視力は同じである。
304	○	高速道路を走行中は両側車線の車の動向に注意しなければならない。
305	○	高速道路或いは快速道路ではスピードの出しすぎにならないよう、常に運転速度に気を付けなければならない。
306	○	高速で道路を走行中、タイヤの温度が高くなり変形した場合は、タイヤのパンクを避ける為にトレッドの深さが十分で、圧力が正常な新しいタイヤと交換する。
307	○	加速車線から本線車道に入る時は方向指示器を点け車間距離を充分とる。
308	○	高速道路、快速道路に入ろうとしている時、本線道路の入り口付近の交通量が多い場合は、加速車線で速度を落とし機会を待つ。
309	○	通行帯を変更する時は早めに方向指示器を点け前後の車両に合図出す。また、近くを走る車両の動向と安全に注意する。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

310	X	隣の通行帯を走行する車が方向指示器を点けて通行帯を変更する意思を示したら、追い越されない為に加速する。
311	O	高速道路或いは快速道路を走行する小型車は安全の為に先行車との間に十分な距離を保ち、天気の状態が普通の場合で、時速 90 キロ走行の時は 45 メートル以上の車間距離を置かなければならない。
312	X	高速道路或いは快速道路で出口を間違えた場合はすぐに停車するかする。
313	O	高速道路或いは快速道路を走行中に車が突然に故障したら、周囲の車両に注意して、方向指示器を点け、惰力走行で車道から離れ、減速しながら路肩に移動して、車の後ろ 50 メートルから 100 メートルの所に故障標識（停止表示器材）を置き、方向指示器を危険、故障指示器に変える。
314	O	積載許容幅を越える物を貨車に乗せる場合は、運ぶ地点や車の所属地にある道路管理機関に臨時通行証を申請しなければならない。
315	O	大型トラックに荷物を載せ、地面から測った全体の高さが、4 メートルを越える場合は、道路管理機関に臨時通行証を申請しなければならない。
316	O	バスが高速或いは快速公路を通行する際、ドライバー及び四歳以上の乗客は、全てシートベルトをする必要がある。
317	O	高速道路或いは快速道路の管理機関は指定する時間帯の高速道路或いは快速道路のランプ、車道、路肩の通行を禁止したり制限したりできる。乗車人数の制限もできる。
318	O	高速道路或いは快速道路で車道を横切る、転回、後退、逆走は禁じられている。
319	O	車両が道路を走行中、突然に減速、或いはむやみに車線を変えてはいけない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

320	○	シリンダー総排気量 550CC 未満の大型自動二輪車は高速道路を走行できない。
321	○	高速道路脇には一定間隔ごとに歩行者が救援を求めたり通報をする為の緊急用の電話が一台設置されている。
322	X	高速道路或いは快速道路の内側走行帯は追い越し専用車線である。しかし大型車両小型車両とも、道が混んでいなければ最高速度で内側車線を走行することができる。
323	○	大型車両が高速道路或いは快速道路を走行する時は外側の走行帯を走り、追い越す時は路側帯を利用する。
324	○	高速道路或いは快速道路を走行するトラックは積み荷に覆いを掛け、しっかりと固定しなければならない。ジャリなど顆粒状の物を運ぶ場合は覆いを掛け、荷台の高さを超えてはいけない。
325	○	トラックは高速道路或いは快速道路で積み荷を 20%超過して走行してその場で改善が出来ない者、検挙された後も改善せずに走行し続けた者は連続して検挙され処罰を受ける。
326	○	トラックで長い荷物を運搬するのに高速道路或いは快速道路を使う時は後ろに突き出た荷物が後退灯、尾灯、ナンバープレートを覆わないように注意する。
327	○	車を運転中、運転者、助手席の乗客、及び小型車において後座席の乗客はシートベルトを締めなければならない。
328	X	大型バスは乗客の数を増やす為に、高速道路或いは快速道路でも乗客が立ったままで走行しても良い。
329	○	高速道路或いは快速道路では連続して警音器を鳴らしてはいけない。灯火或いは他の方法で先行車に追い越の合図をする。
330	○	四輪以上の自動車が高速道路及び快速道路を走行するとき、各タイヤの紋（溝）の深さは 1.6 ミリ以上でなければならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

331	○	自動車で高速道路または自動車専用道路を走行するとき、車両のパーツ、設備、付着物が不安定な状態または外れた状態で走行してはならない。
332	X	高速道路が渋滞している場合は路肩を走行してもよい。
333	○	高速道路或いは快速道路管理機関の許可を得ていない牽引自動車は高速道路或いは快速道路とその管轄内の沿線道路で営業してはいけない。
334	○	高速道路では、天気が正常で平均時速 100 キロで走行する時安全とされる車間距離は、大型車は 80 メートル、小型車は 50 メートルである。
335	○	小型車が高速道路或いは快速道路の平均時速 80 キロ区間を走行するとき、安全の為に少なくとも 40 メートルの車間距離を保たなければならない。
336	○	高速道路或いは快速道路で、濃霧、濃煙、強風、大雨、夜間、その他特種な状況下で走行する場合は安全とされる車間距離を多めにとる。
337	○	高速道路或いは快速道路を走行する前に、各交通管制緩和措置及び道路交通状況などの情報を収集し理解しておく。
338	○	スピード違反は交通事故の最も大きな原因の一つである。
339	X	寝不足や意識喪失の時は、気を付けるのなら運転してもよい。
340	X	自動車の性能が分からなくても、自動車を運転する上での安全には影響がない。
341	○	交通規則を遵守すれば交通事故は減る。
342	○	交通事故が起きる直前、合理的かつ妥当である行動を執り、事故を防止することを防衛運転という。
343	X	走行前に沿線道路の道路状況を知ることは安全運転の助けにならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

344	X	深夜、人通りが少ない時は制限速度を越えて運転してもよい。
345	O	夜間車を運転するときは、安全運転のためにフロントガラスと運転席の両サイドにあるガラスを良く拭いてから運転する。
346	X	夜間、対向車がライトを下に向けなかったら、こちらもライトを上に向けそのまま走行する。
347	O	水が溜まっている道路では減速して走行し、通過した後はブレーキを踏んで異常がないか確認する。
348	O	「頭を上げて遠くを見る」「視距離を伸ばす」「前後左右の車間距離を充分とる」これらは交通事故防止の要点の一つである。
349	O	交通事故が起きた時は、すぐに車を止め、現場を維持して出来るだけ早く関係機関に通報する。
350	O	事故処理をする時は責任が誰にあるかということより、人命救助を優先し、救助が遅れて死傷者を増やすことにならないようにする。
351	X	大きな事故が起きた時は、交通状態を迅速に回復させる為に、事故現場の片付けを進める。事故処理機関の指示は待たなくても良い。
352	O	事故の和解は、当事者、法定代理人、監護人或いは継承者が行う。
353	X	事故責任が相手側にあり、その相手が怪我をしている場合、面倒に巻き込まれないように、その怪我人を病院へ運ばなくてもよい。
354	O	走行中の自動車の窓から頭や身体の一部を外へ出してはいけない。
355	X	トンネル内で渋滞になったら、車の流れを良くするために、走行車線を走行量の少ない車線に変えてもよい。
356	O	長いトンネル内には緊急用の電話が設置されており、車両の故障、事故、災害の時などに、ラインコントロールセンターへ通報するのに使う。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

357	X	トンネルで交通事故が起き、死傷者もなく、車両が運転できる場合でも、事故の責任をはっきりさせる為に車を移動させず、事故現場を完璧に保存しなければならない。
358	X	交通事故で、意識を失っている人がいたら、身体をゆすったり、たたいたりして、できるだけ早く意識を回復させる。
359	O	交通事故では、車に引火したり、爆発の危険がない限り、出来るだけ車内で怪我人の救護に当たる。
360	O	交通事故を起こし、怪我人を運ばなければならない時は、身体全体を平均して持ち上げる。頭と足だけをもち上げてはいけない。
361	X	運転者は運転技術がよけれ充分である。緊急時の救護活動に必要な常識、技能などはなくてもかまわない。
362	O	一般自動車の運転者は手引きの説明を参考に適当なオクタン価ガソリンを使用する。
363	O	低オクタン価ガソリンを使用すると不完全燃焼を起こし、ブラストをおこす。燃費が増え、エンジンの馬力が出なくなる。
364	O	車両の積み荷や重量を減らせば、燃費も節約できる。
365	O	冷えている車を始動する時はエンジンをふかして車を暖める必要はない。ゆっくり運転してエンジンが温めるほうが効率がよい。
366	O	自動車の走行中はローギアで走行する時間が長くないように徐々に加速して運転する。
367	O	ゆっくりとエンジンをかけ、出来るだけ安定した速度で走行するのが燃費を抑える方法である。
368	O	ラッシュアワーの運転は車も人も多く道も込んでいるし、燃費も嵩むため、出来るだけ避けたほうがよい。
369	O	運転者が交通規則違反をした時、その場で止められなかったり、反則キップをきることができなくても、直接検挙して処罰することができる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

370	○	車に幼児を乗せる場合は規定された幼児用の椅子を付けなければならない。違反者は新台幣ドル 1500 元から 3000 元の罰金が科せられる。
371	○	規定通りにライトを使用しない運転者には罰金が科せられる。
372	○	道路を仕事場として利用した者はすぐに立ち退きを命じられ、当人或いは雇い主に罰金が科せられる。
373	X	車体、エンジン、シャシ、電気系統など重要な設備の変更や交換をする時は、道路主管機関の行う臨時検査に申請しなくてもよい。
374	○	車両が貨物を積載して、地磅が設置されている場所から 5 キロ以内の道路を通行する場合、標識、車線標示、信号指示に従って計量を受けない車両の運転者は、新台幣ドル 9 万元の罰金を科せられ、強制的に計量を受けることがあります。
375	X	車は信号が設置されていない横断報道では加速して通過することができる。道が渋滞する原因となるので減速してはいけない。
376	○	信号が有る交差点で、赤信号を無視して右折した者は、新台幣ドル 600 元～1800 元の罰金刑となる。
377	○	満 68 歳になった小型車職業ドライバーは、前年度に免許停止処分を受けておらず、且つ規定に基づき身体検査に合格した方は、運転者認知機能テスト合格証明書、或いは認知機能正常の証明書を提出すれば、一年間有効の小型職業運転者免許を発行する。或いは 70 歳になるまで毎年小型職業運転者免許の備考欄に有効期間を付け加える。
378	○	試験に合格したが、運転免許証をまだ受け取っていない者が、道路交通管理処罰条例に違反した場合は、免許を取り上げられ、欠格期間を満了するまで再度免許許取得試験を受けることはできない。
379	○	原動機付き自転車、自動車、小型バン、小型トラックの所有者は代理商或いは輸入商が発行する車の製造工場、内政部の認可、車両の

自動車法規の正誤問題

【日本語】

		特定部品の識別番号が書かれている証明書を提出してから、新しい車のナンバープレートの申請ができる。
380	○	車の車体は電球で飾りたててはいけない。また灯火に着色したりテープを貼ったりすることも禁止されている。
381	○	四輪以上の車は高速車線と低速車線がある道路では、発車、左折右折する、停車、臨時停車、のとき以外、低速車線を走行してはいけない。しかし、高速車線分離帯がある場合はこの限りではない。
382	○	カーブする道、坂道、狭い道、ランプ、中央分離帯、道路工事区域に駐車してはいけない。
383	X	排気量 550 立方 cm 以上の大型自動二輪車は高速道路、快速道路の走行が認められ、二台並んで走ったり、競争したりしてもよい。
384	○	排気量 550 立方 cm 以上の大型自動二輪車は高速道路、快速道路の走行が認められている。ヘルメットは必須で、頭と顔を覆うものか顔が出ているもののどちらでなければならない。
385	○	排気量 550 立方 cm 以上の大型自動二輪車は高速道路、快速道路の走行が認められている。ただし、タイヤの溝の深さは 1 ミリメートル以上であるよう検査しなければならない。
386	○	排気量 550 立方 cm 以上の大型自動二輪車は高速道路、快速道路の走行が認められている。しかし、ヘルメットは頭と顔をしっかり覆うタイプをかぶらなければならない。
387	○	いわゆる「安全限界」とは、運転中の不注意で遭遇するであろうさまざまな事故につながる要素に対し、運転者がその危険を回避できる、許容限度のことをいう。
388	○	「安全限界」観念のある運転者は、交通違反をする人や交通違反の車が原因で起こる事故を未然に防ぐ予防措置を行い安全を確保する。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

389	○	「平穩走行」とは、急速発進をしない、カーブを曲がる時は減速する、高スピードで突進しない、みだりに車線変更しない、安全車間距離を保つ、突然急ブレーキをかけない、無理な追い越しや競走をしない、信号無視をしないことである。
390	○	運転者は走行前に座席の位置を調整して、左右のサイドミラーとバックミラーの位置と角度を調整すべきである。またミラーは必ずきれいに拭いて、周囲の状況がよく見えるようにする。
391	○	車が始動し始めた時、運転者はすぐ、視野を遠くに広げず、速度を上げると共に視野も遠方に広げていく。
392	○	後方車と先行車の最小安全車間距離は停車距離よりも大きく取るべきである。
393	○	衝突を防ぐ規範は、安全車間距離を保つことである。
394	○	事故を起こす主要原因は、安全車間距離を保たない、任意に車道変更をする、無理に左折する、スピード違反をして急ぐことである。
395	○	反応距離とは運転者が運転中にある状況に直面し、それに対応するための措置を施す間に車両が走行する距離のことである。
396	○	車両は車軸が長いほど車輪間の距離も長くなり、Uターンに必要な最小半径も大きくなる。
397	○	視野とは運転者の目が前方を注視している時に両側面の事物を感じ取ることができる能力或いは限界のことである。
398	X	車両の走行速度が速いほど運転者の視野は広くなり、遠方の景色がよく見えるようになる。
399	○	車両の走行速度が速いほど運転者の視野は狭くなり、視力が低下する。
400	○	雨天は路面が滑りやすく、急カーブや急ブレーキは車体の横滑りを引き起こすので注意して運転すべきである。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

401	○	カーブで車輪がスリップした際、決してブレーキを踏んではならない。一番安全なやり方は、アクセルを緩めること。
402	○	直進走行中に車体後尾が右側にスリップした時は、ハンドルは少し右側に切る。
403	X	運転者が子供を車内に残して車を離れる場合はキーを抜いてドアをロックする。車を離れる時間は20分を超過してはならない。
404	○	車両運転者が事故を起こし死傷者が出た時は、すぐに救急措置を行い、警察に通報する。任意に事故車両を移動させたり事故現場に残った証拠を動かしてはならない。しかし、事故の当事者双方が同意した場合は、事故車両の車輪の位置を路面に記録した後、交通の妨害にならない所に車両を移動する。
405	○	交通事故の大部分は運転者の不注意、過失及び悪質な運転習慣によって引き起こされる。
406	X	自分と関係のない交通事故は、すぐに事故現場を離れる。通報する必要はない。
407	X	事故の責任が不明瞭な時は、当事者は警察や道路管理機関に鑑定を申請できる。
408	○	交通事故の当事者が事故鑑定委員会の鑑定結果に不服の時は、鑑定責任意見書を受け取った翌日から30日以内に再協議機関に再協議の申請ができる。
409	X	運転前に風邪薬と多量の鎮定剤を服用しても心身に影響はないから、引き続き運転ができる。
410	○	飲酒後は視力が低下し、運動反射神経が鈍くなるから、事故を起こす比率が増加する。
411	X	飲酒後は運転者の反応が鈍くなるが、視力は向上する。
412	X	児童は小型車量の前部座席に座るべきである。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

413	○	二輪車、四輪車を他人に貸す時は、その者の免許証の有無や心身の状態を調べる以外に、車両の状況を告知すべきである。
414	○	給油した後は、タンクの蓋をしっかりと閉めて燃料が蒸発して損失するのを抑え、ガソリンをきれいに保つ。
415	○	以免発生危険。ガソリンスタンドで給油する時はエンジンを切り、タバコを消し、携帯電話の使用をやめ、安全を確保する。
416	○	給油用の回転式の蓋を開ける時は、タンク中の圧力で、残留するガソリンが噴出す恐れがある為、時計の回転と逆方向に半分回転させて、「スースー」という音がなくなってから蓋を開ける。
417	○	給油が終了してタンクの蓋を閉める時は、時計回りの方向に爪車が音を発するまで閉める。
418	X	路面運転練習の前に行う車両の安全点検は運転教練の仕事である。練習をする本人が安全点検をする必要はない。
419	○	夜間に走行中、ヘッドライトの照らす距離が長くなったら、そこが下り坂路線であることを意味する。
420	○	下り坂を走行中にエンジンを切ると、パワーステアリングとブレーキ増圧器が正常に作動しなくなり事故を起こしやすくなる。
421	X	長距離の下り坂を走行する時はできるだけブレーキペダルを踏み、エンジンブレーキの過度の使用を避ける。
422	○	長距離の下り坂を走行する時に適度にエンジンブレーキを使用すると車両の損傷率が減少し、かつ最も安全である。
423	○	長距離の下り坂を走行する時には、ブレーキの過度使用で使用不能になるのを避けるために、ギアを低速ギアに入れ替えて、エンジンブレーキも併用すべきである。
424	X	オートマチック車のブレーキの効果はギアチェンジ車よりもいい。
425	○	坂道を走行する時は、上り道では蛇行運転をしてはならず、下り坂ではエンジンを切ったり、ノーギアで走行してはならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

426	X	傾斜角度がほぼ同じ上りと下りの坂道では、上り道をセカンドギアで走行したら、下り坂はサードギア或いはトップギアで走行して燃料と走行時間を節約する。
427	X	走行時に高速ギア（O/Dギア）でエンジンブレーキをかけることができる。
428	O	加速と減速の回数が多いほど、排気ガスの汚染も増加する。
429	O	アクセル板を急に踏んだり緩めたりすると、燃料を余分に浪費し、汚染ガスを排気する好ましくない現象が起こる。
430	X	走行速度が速いほど燃料は節約できる。
431	O	一定速度のもとでは、低速ギアの方が高速ギアよりも出力が大きい。
432	X	走行速度は速度制限の標識や標示線の規定に従わなくてもいい。
433	X	急速発進は低速ギアを使用する時間が短縮できて、燃料の節約ができる。
434	O	安全と省エネ環境保全のために、走行速度は一定に保ち、急な加速や減速はせず、安全な車間距離を保つ。
435	X	走行中に急な加速や減速をすると燃料を浪費するばかりでなく、タイヤ、ブレーキライニングの損傷も早く事故を起こす確率も高くなるが、排気汚染とは無縁である。
436	O	車両は突発状況下で減速しなくてはならない時以外は、任意に急な減速はしてはならない。
437	O	信号機のない交差点を通過する時は、左右をよく見てから通過するのが安全である。
438	O	路上で事故が発生し、すでに警察が駆け付けて処理をしているのを見かけたら、路線を変更して通り過ぎ、好奇心でその場に留まり見物してはならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

439	○	交差点に差し掛かる前に信号機が黄色に変わったら、まず軽くブレーキを踏んで減速し、後方車にブレーキライトが付いたことを気づかせ、追突されないように早めに注意を促す。
440	○	できるだけ急ブレーキの使用を避け、早めにブレーキをかけ、後方車が追突して車内の人員に危険が及ぶのを防ぐ。
441	○	車が交差点の近くに差し掛かった時に遠方で信号機が赤に変わったら、車速と安全車間距離を考えて、アクセルやブレーキをむやみに踏めず、できる限り車両を自然走行させ、燃料の節約をして、省エネ、環境保護に勤める。
442	○	小型車は前方の視線が遮られないようにできるだけ大型車のすぐ後方は走行しない方がよい。そうしないと、前方に突発的な状況が発生しても早めに対応ができない。
443	○	発進、停車、車線変更、右折左折をする時は、指示ライトで予告をし、十分な時間を取り落ち着いて行うべきである。
444	○	角を曲がる際、ウィンカーを出してバックミラーで確認するほか、頭を動かして後方の安全を直視してから曲がること。
445	X	車の左右にはサイドミラーがあり、側面と後方の状況が見える。だから右折や左折をしたり車線変更をする際には方向指示ライトをつければよく、首を回して確認する必要はない。
446	X	左折をする時は、先ず交差点に進入して方向指示ライトをつけるか手信号を行い内側路線或いは左折路線に車線変更する。交差点の中心に進入して左折するが、直進車線に進入して先を争って左折してはならない。
447	○	左折指示信号がついている時は、突発状況を未然に防ぐために、減速して左折或いはUターンをする。
448	X	交差点で左折を待っている車両は、信号機が緑色に変わったら先を争って左折してもいい。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

449	X	左折専用路線の車両は急に左折をやめようと思った時、左折せずそのまま直進してもいい。
450	O	走行中の車両は右側車線を走る二輪車が、左折の指示ライトをつけずに、突然左折して事故を起こさないように注意する。
451	O	信号機の緑は走行の権利を与えるもので、走行の安全を与えるものではないから、交差点を走行する時には減速して走行する。
452	X	道端に停車していた車両が発進しようとする時、方向指示ライトをつける必要はないが、車両の前後左右の状況には注意する。
453	X	先行車を追い越そうとする時は、まず右折指示ライトをつける。
454	O	中央分離線のある2車線道路で追い越しをする時は追い越しに必要な時間と距離に注意すべきである。対向車線に滞在する時間が長いほど、事故を起こす率も増大する。
455	O	Uターンしたり、他の車両の前を横切ったり、追い越しをする時には十分な時間と空間が必要である。
456	X	追い越しをする時にはギアをひとつ上のギアにチェンジすると、加速状態を最良の状態に維持することができる。
457	O	カーブを曲がる時は減速して徐行すべきである。もしブレーキをかける必要があると感じたら、それは曲がる前に十分に減速していないことを表す。
458	X	車線変更をする時や曲がる時には時間を節約するために方向指示ライトをつけずに行う。
459	O	車線変更をする時は適度な速度を保ち、落ち着いて確実に行う、それが優良運転者のあるべき姿である。
460	X	複数車線の交差点では右折左折をするために、2本の白い実線区域内で車線変更できる。
461	O	バックする時に後方の安全を確認できない時は、車から降りて自ら安全を確認してから行う。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

462	○	駐車する時にはできるだけ涼しい所を選ぶ。燃料の浪費とそれに伴う危険を避けるため駐車した車内で長時間エアコンをかけたままにしない。
463	○	車を降りる時はすぐにドアを開けて降りてはならない。運転者及び乗客共に後方から来る車や歩行者を確認してから開ける。
464	○	ドアの開閉は注意深く行うべきである。周囲に障害物がないか、前後から車や歩行者が来ていないかなどを確認してから2段階開閉をして車を降りる。
465	○	開ドアを開けて車を降りる時は、事故にならないよう後方車に注意し、安全を確保する。
466	○	道端に停車しドアを開ける時は、左後方から車、特に二輪車が来ていないかどうか確認すべきである。
467	○	省エネと環境保護のために停車後のアイドリングは3分を超過してはならない。これによって排気ガスによる環境汚染の防止をする。違反した者は空気汚染防止法により罰金を科せられる。
468	○	トンネル内を走行中に火災が発生した時は、速やかに車両を道端に停車させ、近くの安全な場所に避難する。その時は災害救済の必要から、ドアはロックせず、キーはつけたままの状態にしておく。
469	○	轉動汽車方向盤半圈以上時、應採用連續交叉旋轉的操作方法。ハンドルを半円以上きる時は、腕を交差させてきる方法を採用する。
470	○	走行中に突然パンクした時は、ハンドルをしっかり握り、直進状態を保ち、アクセルは緩めるべきである。
471	X	車両は水溜りを通過した後もブレーキの効能に変化はない。
472	X	ギアチェンジ車のクラッチ板操作方法は、ゆっくり踏んで速く放す、ブレーキ板の操作方法は早く踏んでゆっくり放す、である。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

473	X	オートマチック車が高速道路を走行する時、高速道路に進入した時からローギアで走行し、速度に応じてギアは適当な位置に自動調整するので、安心して走行して問題はない。
474	X	高速道路は路面が平らで真っ直ぐな上、速度が均一なので、運転者は精神的に影響を受けにくい。
475	O	車両の安全メンテナンス検査或いは定期メンテナンスを修理場で行う目的は、走行の安全確保とコストの削減、運転者のプレッシャーの軽減などである。
476	O	安全検査が終了した後はボンネットがしっかり閉まっているのを必ず確認してから走行し、走行中に突然開いてしまうのを防ぐ。
477	O	走行前にはエンジン部分の冷却水の量、バッテリー液、オイル、ブレーキオイルの量が安全基準に達しているか、ベルトが破損していないかなどを検査する。
478	X	走行前には各 부품の安全を検査する必要はないが、走行中には各種のメーター表示に注意し、安全走行を行わなければならない。
479	O	車両は規定通り 監理機関指定の車検を受ける以外、製造工場指定の期間或いは走行距離に応じてメンテナンスと検査を受けなければならない。
480	O	エンジンオイルは走行する前に、オイル面がオイルメモリの規格表示内かどうか確認したほうがいい。量が多すぎるとエンジンに負担がかかり、燃料を浪費する。
481	O	オイルの量を確認する時には車両は水平な場所に停車しなければならない。
482	X	車両が坂道で停車中にオイル尺を取り出してオイルの正確な量とオイル面の高さを確認することができる。
483	X	エンジンオイルの量と品質を検査する時はエンジンをかけたままの状態で行う。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

484	X	エンジンをきったら、すぐにエンジンオイルの表面高度を検査できる。
485	O	定期的にエンジンオイルを交換するとエンジンの寿命を延ばすことができる。
486	O	エンジンオイルが多すぎるとプラグに炭が滞積したり、燃費が悪くなったり馬力が低下するなどのよくない現象が起こる。
487	O	エンジンオイルが乳白色の状態になったら、それは冷却水が混入したことを示すから、修理工場で検査と修理をしなければならない。
488	O	ブレーキオイルは、その表面が"MIN"と"MAX"のメモリの間にあることを確認し、必要な場合、同メーカーの同一規格のオイルを補充する。
489	X	ブレーキオイルの表面が常に"MIN"のメモリの下にある時、補充すればよく、修理工場で検査修理する必要はない。
490	O	ブレーキシリンダーのオイルが不足している時、ブレーキオイルを補充する。
491	X	ブレーキオイルを規定のメモリを超える所まで補充し、力強くブレーキを踏んでタイヤの回転を完全に止めると、ブレーキの効果は最もよくなり、ブレーキ距離が最短になる。
492	O	ブレーキオイルが車体にかかると、その塗装を損傷するので、もしかかってしまったらすぐにきれいな水で洗い流すべきである。
493	O	ブレーキ板を踏んだ時に緩んでいたら、それはブレーキ管の中に空気が混入したかオイル漏れの可能性があるから、すぐに停車して検査し、事故を未然に防ぐ。
494	O	ブレーキオイル、パワーステアリングオイル、自動トランスミッションオイルはどれも有毒品だから、表示のある容器内に貯蔵し、子供の手の届かない所に置いておくべきである。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

495	X	パワーステアリングシステムがオイル漏れをした時はハンドルは完全に効かなくなる。
496	O	バッテリーのネジは直径が大きい方が+で、小さい方が-である。
497	O	適度なバッテリー液の量を確保すると、バッテリーの寿命を延ばすことができる。
498	O	バッテリー液が不足している時は、蒸留水を補充する。
499	X	バッテリー液が不足している時は、ミネラルウォーターを指定のメモリまで補充する。
500	O	バッテリー液は稀硫酸で、腐蝕性があるので、皮膚や目、衣服などに付着した時はすぐにきれいな水で洗い落とすべきである。
501	X	暗い所でバッテリーのネジ、バッテリー液注入口の蓋などを検査する時は、ライターの火で近い位置から照らすことができる。
502	O	車に多くの電気用品を設置すると、燃費が悪くなる。
503	O	バッテリー液が不足してもう一台の車両のバッテリー救援を受ける時、+極は+極につなぎ、-極は故障車のアースが良好な所につなぐ。
504	X	フロントガラスの噴水機内の洗浄水がなくなっても噴水機は引き続き使用してもいい。
505	O	メーター板の「距離メーター」は、車両が走行した総合距離を記録するものである。
506	X	メーター板の「距離メーター」は、エンジンの毎分の回転数を示すものである。
507	O	メーター板の「タコメーター」は、エンジンの回転数を表し、針が1を指す時は、1分間に千回転していることを示す。
508	X	メーター版の「エンジン冷却水 温度メーター」の温度表示は車外温度と走行状態に影響を受けることはない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

509	0	メーター板の「エンジン冷却水温度メーター」の温度表示が正常な範囲を超えた時、すぐに車両を道端に安全停車させる。引き続き走行するとエンジンに重大な損傷を生じる可能性がある。
510	0	エンジンの温度が高くなると、温度計の針は"H"を指す。
511	X	冷却水の量と水質及び水漏れの検査はエンジンが正常な温度で作動している時に行うべきである。
512	0	エンジンが高温の時は熱湯が噴出して酷いやけどをする恐れがあるので冷却水タンクの圧力蓋を開けてはならない。
513	X	エンジン冷却水が足りているかどうか検査する時は、まずエンジンを数分始動させてからエンジンを止めてタンクの蓋を開けて検査する。
514	X	冷却システムはサブタンクの水が足りていれば、メインタンクは検査しなくてもよい。
515	X	エンジン冷却水には防凍剤やさび防止剤が含まれているから、交換しなくてもいい。
516	X	走行中に水の温度計の針が上限を超えた時は、車を安全な道端に停車させ、サイドブレーキをひいてエンジンを止め、タンクの蓋を開けて水の量を検査する。
517	0	エンジンをかける前に必ず冷却水とオイルの量を確認しなくてはならない。
518	0	水冷式エンジンは冷却水がない時は発動できない。
519	X	冷却水が足りてさえいれば、エンジンは過熱しすぎることはない。
520	0	フロントガラス用スプリンクラーを使用するとき、洗浄水タンクに水が無いと、スプリンクラーのモーターが破損しやすくなる。この状態でワイパーを作動するとフロントガラスを傷つけ、ワイパーも破損しやすい。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

521	X	メーター板上の「燃料メーター」の針がすでに「E」の位置まで下がってオレンジ色の「ガス欠警告ライト」がついても、すぐに燃料を補充する必要はなく、目的地に着いてから補充すればよい。
522	X	「燃料メーター」の針が「E」の位置を指した時は、満タンであることを表す。
523	0	エンジンが始動した後、それぞれの電気用品の電気は発電機が発電して供給する。
524	0	走行中に充電警告ライトがついたら、それは充電システムに故障が生じたことを表す。
525	0	走行中にブレーキ警告ライトが突然ついたら、すぐに道端に停車し、エンジンを切って救援を待つ。
526	0	ABS ブレーキシステムの最も優れた点は、急ブレーキをかけた時でもブレーキと方向転換が正常にできることである。
527	0	コンピューター制御 ABS ブレーキシステムは、高速走行をしながら急ブレーキを踏んだ時にブレーキ板が上下に震動するが、それは正常な現象である。
528	0	高速走行をしながら急ブレーキを踏んだ時に、もしその車両がコンピューター制御 ABS ブレーキシステムを設置してある車両なら、運転者が冷静にハンドル操作をすれば障害物を回避することが可能である。
529	0	車内の物置棚の蓋は開けた後はしっかり閉めておき、思いがけず或いは急ブレーキにより乗客が怪我をするのを防ぐ。
530	0	車には不必要な物はできるだけ載せないようにして車体の重量を減らすと燃料と費用の節約になり、省エネと環境保全にもなる。
531	0	突然動いて車両の制御ができなくなる恐れがあるため、走行中には座席の位置を調整してはならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

532	X	走行中に座席の位置がよくない時は、運転しながら座席の位置を調整してもいい。
533	X	運転席の座席枕を取り外して、後部座席の乗客の視覚をよくすることができる。
534	X	赤ちゃんは膝に抱いて、その上からシートベルトを締めれば、安全でもあるし赤ちゃんの面倒を見ることもできる。
535	X	二人の子供が同時に一本のシートベルトを共用してもその安全性に影響はない。
536	X	シートベルトは肩から胸の前を通して斜めに掛けると、圧迫されて苦しいので、腕をベルトの外に出す楽な締め方をする。この方法でも安全性は軽減しない。
537	0	シートベルトが磨耗したり破損したら、新しい物に取り替えなければならない。
538	0	車両がひどく衝突した後、その車両のシートベルトは収縮器を含め全ての部品を新しい物に取り替えなければならない。
539	X	エアバッグ装備の車両はシートベルトを締めなくてもいい。
540	0	暴走する危険を防止するために、オートマチック車は、エンジンを始動する時にアクセルを踏まないとギアの入れ替えができない。
541	0	オートマチック車はエンジンを始動する時、ギアは「P」の位置にすべきである。
542	X	オートマチック車はエンジンを始動する時、ギアを「D」の位置にしないと始動モーターを回転させることができない。
543	X	オートマチック車はギアが「N」或いは「P」以外の位置でもエンジンを始動することができる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

544	X	オートマチック車は走行中に随時ギアを「P」或いは「R」に入れ替えることができる。
545	0	オートマチック車は停車した時に、完全に車両が停止したのを確認してから、はじめてギアを「P」の位置にすることができる。
546	0	オートマチック車の前進「D」ギア、後退「R」ギア、駐車「P」ギアは、車両が完全に停止してから、はじめて操作できる。
547	0	オートマチック車は下り坂ではローギアを使用すべきである。
548	0	走行前にタイヤを検査する時はその紋様の深さと圧力を検査すべきである。
549	0	タイヤの圧力は内タイヤも含めて定期検査を行わなければならない。タイヤの標準圧力は車両によって規定値が違うのでマニュアルで確認する。
550	X	タイヤの圧力が高いほど燃費が良くなり、ブレーキ効能には影響しない。
551	0	タイヤの圧力が足りない時、燃費が悪くなるばかりか、長時間高速走行するとパンクしやすい。
552	X	タイヤ表面の模様が過度に磨耗しても走行の安全には影響しない。
553	0	毎回始動モーターでエンジンを始動させる時、その時間は10秒を超えてはならない。超えるとバッテリーと始動モーターが損傷しやすい。
554	0	否則起動馬達會受損。エンジンを始動させる時、毎回その操作は10秒を超えてはならない。もしかからなかったら、10秒休んでからまた始動させる。そうしないと始動モーターが損傷しやすい。
555	X	バッテリーに電気がなくなった時は、ギアチェンジ車もオートマチック車も車両を推してエンジンを始動させることができる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

556	0	エンジンが始動した時にマフラーから青白いけむりが出たら、それはオイルが燃焼していることを表す。
557	0	エンジンが低温状態で始動する時にマフラーから水滴が滴り落ちるのは正常な現象である。
558	0	ブレーキを掛けた時に異常な音がするのはブレーキシステムが正常でない現象だから、停車して検査すべきである。
559	X	ブレーキを掛けた時に異常な音がするのは正常な現象だから、検査修理する必要はない。
560	X	サイドブレーキを緩めてなくても発進には影響がない。
561	X	サイドブレーキと足踏みブレーキは同時に併用できない。
562	0	ブレーキをあまり強くかけるとタイヤが磨耗しやすく、車両が横転しやすい。
563	0	ブレーキを掛けた時に異常な音がするのは、ブレーキのライニングが磨耗している可能性がある。
564	0	新車は各部件の慣らし運転期間中は、高速走行と急ブレーキは避けなければならない。
565	X	車両は高速走行をするほど燃費が良くなるから、エンジンの回転数は無限に上げることができる。
566	0	エンジンが低温の状態の時に高速回転させるとエンジンの寿命が縮まる。
567	0	エンジンは低温の時の方が、正常温度の時よりも燃料消費量が多い。
568	X	定期車検の時に車両故障標識を検査する必要がないから、車両に標識を装備しておく必要もない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

569	0	オイルと電気の混合車の最も主要な効用は、燃料が節約できて、空気汚染を減少することである。
570	X	コンピュータ制御のガソリン噴射エンジンは低温で始動する時、アクセルを何度も連続して踏まないと始動しない。
571	0	車両を停止する時にサイドブレーキを引くと車両が滑るのを防止できる。
572	0	触媒コンバーターのある車両は火災を予防する為、草地や可燃物の上に駐車してはいけない。
573	0	駐車する時にライターなど直射日光の高温で出火する恐れのある燃えやすい物は車内に残しておかない。
574	0	仮免許で練習する時には交通標識、標示線、信号機及び速度制限規定に従って走行し、前と両側の状況に注意を払い、随時必要な安全措置を採らなければならない。
575	X	仮免許は暫時免許証として使用でき、随時車道で運転の練習ができ、警察は法に則って取締りができない。
576	X	仮免許取得者はどの車道でも練習ができる。
577	0	仮免許取得者は路上運転の練習をする時は、現地警察の指定する道路と時間内に行うべきで、その車両の免許証を所有する運転者が傍らで指導監督する。
578	X	まだ免許証を取得していなくても、運転技術が優れていれば人に教えることもできるし、それを職業とすることもできる。
579	0	免許試験を受けて合格しても、まだ免許証を受け取る前は運転をしてはならない。
580	X	免許試験を受けて合格したら、まだ免許証を受け取ってなくても運転ができる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

581	X	職業車両運転者は免許証の期限が切れて免停になっても、同等車両の普通免許証を申請すれば、新しい免許証を受け取る前に車両の運転ができる。
582	0	職業免許を所持するタクシードライバーの就業年齢が70歳に延長された場合、規定に基づき、同等の車種の普通免許に切り替える申請をするべき。
583	X	一時駐車禁止区間では別に特別規定がある時以外は、原則上24時間駐車禁止である。
584	0	臨時駐車禁止区間内では、24時間駐車も駐車してはならない。
585	0	駐車禁止区間では臨時停車はできるが、駐車はしてはならない。
586	X	停車禁止区間では駐車はできるが、24時間駐車はできない。
587	0	駐車禁止の標識や標線が設置されている道路であっても、その他の標識や標線による規制がない場合は、夜間8時以降から翌朝7時以前までは駐車および一時駐車が可能です。
588	X	車両は並列して停車してもいい。
589	X	踏切を先行車が止まらず、安全を確認しないで通過したので、自分も同様に高速で通過する。
590	0	看守管理人がいない踏切、或いは遮断機、警告鈴、信号機設備のない（柵がない）踏切を通過する時には、線路の前3～6メートルの所に停車し、電車が来ていないのを見て聞いてよく確認してから通過する。
591	0	走行中に追い越し禁止線のある車道、中央分離線のある車道車線変更禁止区間或いは踏切では追い越しやUターンをしてはならない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

592	X	平坦で真っ直ぐな区間では2本の黄色い線が引いてあっても、対向車線に対向車がない場合は、対向車線を走行して追い越しができる。
593	0	カーブ、坂道、狭い橋、交差点の標識のある区間或いは踏切や道路工事中の区間では追い越しをしてはならない。
594	X	直進車がまだ交差点に到達していない場合、左折車は先に左折することができる。
595	0	横断歩道を通過する時は、歩行者がいたら、交通指導員がいるかどうか或いは信号機の指示の如何にかかわらず、停車して歩行者を優先的に通過させる。
596	X	前方を職務執行中の救急車が走行している時、急いでいる場合はそれを追い越すことができる。
597	X	走行中は信号機の指示だけに従い、交通指導員の指示に従わなくてもいい。
598	0	車両が夜間走行をする場合やトンネル、地下道を通過する時にはヘッドライトをつけ、霧や大雨、暗くなった時、視界が悪い時にもヘッドライトをつける。
599	X	トンネルを走行する時、トンネル内は照明が明るくて視界がいいので、節電のためにヘッドライトをつけなくてもいい。
600	0	山道、特殊路面区間、トンネルや地下道を通過する時には、標識の指示に従ってヘッドライトを使用する。
601	0	急なカーブ、上り坂の見通しの悪い所、郊外の同一車道で先行車を追い越したい時、或いは危険な状況に突然直面した時はクラクションを鳴らすことができる。
602	X	排気量 250 立方 cm 以上、550 立方 cm 未満の大型二輪車の走行権利は小型車と同様で、高速道路と自動車専用道路を走行できる。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

603	0	客車とトラックは乗客人数および積載重量が規定を超過してはならない。また乗客搭乗時と荷物積載時の諸重量も規定の重量内でなければならない。
604	X	車両のナンバーは偽造してはならないが、他の車両に貸したり、他の車両のナンバーを借りて使用することができる。
605	0	ナンバーを受領した車両は、その製造年数が小型車両（液化ガス及び圧縮天然ガスを燃料とする車両は除外）の場合、5年未満のものは車検を受ける必要はない。5年以上10年未満のものは毎年少なくとも1回車検を受ける必要がある。
606	X	ナンバーを受領した車両は、その製造年数が小型車両の場合、6年未満のものは定期車検をする必要がない。6年以上10年未満のものは1年に少なくとも1回、10年以上のものは1年に少なくとも2回受ける必要がある。
607	X	自家用小型車両は液化ガス及び圧縮天然ガスを燃料とする。小型トラック、大型車、児童専用車及び営業車は、製造から5年未満の場合、毎年車検を少なくとも1回受け、10年以上のものは少なくとも2回受ける。
608	0	使用中の車両の燃料を液化ガスに変更したい者は、規定に従い車両安全検査合格報告を取得し、道路監理機関に検査の実施を申請し、変更登記をする。
609	0	車両定期検査項目及びその標準は、足踏みブレーキとサイドブレーキの効能、平衡度合いが規定以内か、各種のライトが完備され、正常に使用できるかどうかを含む。
610	0	エンジン、車台、電気系統、ドアが損傷して走行時に危険な状態を呈しているにもかかわらずすぐに停止して修理をしない場合、車の所有者は罰金を科せら車のナンバーを没収される。車の修理が命じられ検査に合格した後にナンバーが返還される。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

611	0	小型車両に連結する牽引車はキャンプ、レジャー、防疫対策用及び救済用具としてしか使用できない。ドアがしっかり閉まるもので、車内の物品はきつく固定しておく。走行中は人員を載せることはできず、側面の窓は外側に向けて開けてはならない。
612	0	走行前にハンドル、ブレーキ、タイヤ、ライト、ワイパー、バックミラー、設置しなくてはならない走行記録器、積載計、カーブ、バックの警報装置などを詳しく検査して確実に作用するかどうか注意しなくてはならない。
613	X	車両は皆と異なる音調を発するクラクションを設置することができる。
614	0	使用中の車両のヘッドライトを HID や LED ランプに自分で改造したあと、グレアにならないよう、ヘッドライトの光軸調整をした上、公路管理機関で検査を受け、変更登録をしなければならない。
615	0	車両は色を変更することができるが、必ず道路監理機関で変更登記をしなくてはならない。
616	0	すでにナンバーを返納した車両は再びナンバーを申請して使用することができる。
617	0	車両のドアが著しく破損して修復できない時は廃車の申請をしなくてはならない。
618	0	警察官が臨時検問を執行中に、走行中の運転者が手持ちで携帯電話、パソコンなどの装置を使い、電話を掛ける、通話、通信など、運転に支障をきたすことをした時、交通秩序と走行の安全を妨げないことを原則として、必要な場合は、録画或いは写真撮影で証拠を採取することができる。
619	0	危険ドラッグ、覚せい剤、麻薬及び類似薬物など規制薬物又は酒類を使用又は飲用し、安全運転が確保できない状態で車両を運転した

自動車法規の正誤問題

【日本語】

		場合、3年以下の懲役、拘留または30万台湾ドル以下の罰金を加えるか、併科することができる。
620	0	オートマチック車が走行中にエンストして、もう一度エンジンをかけ直そうとしてもかからない時、ギアはまだ「D」の位置にある可能性がある。
621	0	車両が踏切で故障したり走行に障害がある時、すぐに対策を採るべきである。その順序は「踏切交差点緊急ボタン」を押す→「故障車両を踏切から移動させる」→「列車が近づいたら人員はすぐに踏切から離れる」である。
622	0	電化鉄道区間は、その踏切の前後に高度制限門が設置されている。それは運転者に規定を超える高さの積載物を積載している車両は通過できないことを知らせるためのものである。
623	0	高速道路或いは快速道路のトンネル内で車両が故障したときは、先ず危険警告ライトをつけ、故障車両後方100mのところに車両故障標識を置いて緊急電話或いは携帯電話で管理機関に通報する。
624	0	高速道路を走行するために進入道路に入ろうとした時に、進入禁止標識、外向き矢印の路面標識線が設置されているのが見えたり、或いはその路面に赤い反射光線道路標識があるのが見えたら、そこは進入道路出口で、いかなる車両も進入禁止であることを表す。
625	0	道路工事標識、白くて四角い路線変更告示標識が設置されていたり、施工警告車が止まっていたら、それは工事中の道路区間であることを表しているから、車両は減速して徐行し注意して通過しなければならない。
626	0	高速道路での交通事故は内政部警政署国道公路警察局により受理される。快速道路での交通事故は所属県、市政府の警察機関、または内政部警政署が指定した警察機関により受理される。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

627	X	走行中、前方に交通誘導員が道路や橋を封鎖した場合、遅刻しないためにも、それを気にすることなく、加速して通過する。
628	0	走行予定の道路が封鎖された場合、交通誘導員の誘導に従って走行し、留まらずに素早くそこから離れる。
629	0	雨の日に山道を走行中、常に警察ラジオステーションを聞き、道路状況に気を付ける。警戒を高めて、周囲を留意し、危険な路面を走行しない。
630	X	道路は100%安全なので、運転する前に特に道路状況について聞かなくていいし、台風でも土砂降りでも危険はない。
631	0	中央気象局が豪雨警報を発表した期間、道路に落石や水位の急上昇は道路災害の兆しである。その道路を走行するのを避けて、公路機関や警察ラジオステーションに知らせて、他人の被害を防げる。
632	0	車両の運転が始まる前に、運転手の視線範囲にいる遊楽性ディスプレイ設備を閉める。ただし、運転を補佐する設備を除く。
633	X	車両が道路を走行中、運転手が運転補佐設備を見ることは規則違反ではないので、運転しながら補佐設備を操作するのも規則違反ではない。
634	0	運転者は走行中に交通警官及び交通取り締まりに携わる者が言葉、手信号、誘導棒で、またはクラクションや警鳴装置を鳴らすことにより停車させようとした場合、すぐ減速して徐行し、方向指示ライトを点滅してから徐々に適当な道肩に停車する。
635	X	運転者は走行中に警察に停車させられ、法令違反と認定され交通違反通告書を渡された場合、被検挙者は交通違反通告書通告表を受けた際に、交通違反通告書移送表に押印またはサインをする。被検挙者は押印またはサインしたことにより検挙された事実を認めたとされ、今後検挙に納得できないと否認、または行政訴訟の申し立てができない。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

641	0	自動車ドライバーが自動車を運転して事故を起こした場合、死傷者がなく、規定に基づき処置しなかった者は、1000 元以上 3000 元以下の罰金に処す。その場から逃げた者は免許を 1 ヶ月から 3 ヶ月停止する。
642	0	自動車ドライバーが自動車を運転して事故を起こし、死傷者がなく、自動車が走行できる場合、直ちに自動車の位置をマークして道路の端に移動せず、交通の妨げになった場合、ドライバーを 600 元以上 1800 元以下の罰金に処す。
643	0	道路で交通事故が発生した場合、ドライバー或いは加害者がまずすべきことは、車道或いは路肩を含む事故現場から適切な距離に、停止表示板或いはその他の明らかな警告表示を立てるべきとし、事故現場が排除した後は、直ちに撤去すること。負傷者がいる場合は迅速に救護し、速やかに消防機関に連絡をすること。
644	0	道路交通事故で死傷者がおらず、自動車が走行できる場合、当事者がカメラ或いはビデオを使って車両位置及び現場の痕跡を記録する場合、撮影及び車を移動する全過程において、原則的に安全に注意すること。
645	X	自動車ドライバーが自動車を運転して事故を起こし、死傷者がなく、自動車が走行できる場合、任意に事故車両及び現場の痕跡証拠を動かしてはならず、現場の安全な場所にて警察が到着して処理するのを待たなければならない。
646	○	車の運転者がサイレンサーを取外して騒音を発生させた場合、罰金を処す他、直ちにその運転を禁止し、ナンバープレート返却を 6 ヶ月処する。1 年以内で再犯したものは、免許 6 ヶ月停止を処す。
647	○	運転者は周りの状況を常に把握しながら、交通規則を守って運転し、自転車運転者を発見した場合、安全な車間距離を保ちながら走行するほか、手信号による進路変更の合図には特に注意しなければなりません。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

648	○	ライトレールの軌道（レール）に差し掛かった時は迅速に通過し、レール内に絶対にとどまってははいけません。
649	○	自動車運転者が二輪車・自転車優先道路がある区間を走行する時は、電動補助付き自転車及び電動自転車を優先して通過させなければなりません。
650	○	高速道路にて事故を起こし、負傷者がなく、且つ車両が走行できる状態の場合、撮影或いは録画などで記録を撮り、まず車両位置及び現場の痕跡証拠をマークしたあと、交通の妨げにならない場所に車を移動し、関係部署に通報すること。
651	○	自動車が高速道路にて人身事故を起こした場合、直ちに救護活動を行い、及び規定に基づき処置したうえで、110番或いは1968や1968アプリに通報し、警察または道路管理機関の協力を得るべき。勝手に事故車両及び現場の痕跡証拠を移動してはならない。但し、加害者及び当事者が全員移動に同意する場合、まず車両位置及び現場証拠をマークしたあと、交通の妨げにならない場所に車を移動するべき。
652	○	自動車が高速道路にて交通事故を起こした場合、適切な距離を開けた場所に停止表示板或いはその他の明白な警告物を置き、事故現場の処理が終わると、直ちに撤収する。負傷者がいる場合は、直ちに救護し、できるだけ速く110番或いは1968や1968アプリに通報し、警察または関連部署の協力を得るべき。
653	○	自動車が高速道路にて故障或いは交通事故を起こし、負傷者がおらず、且つ車両が走行できる場合、後続車に追突されるのを防止するためにも安全な場所に移動してから救援を待つべき。車道内に留まらず、視線は車が来る方向に向け、後方の車両状況に注意をするべき。

自動車法規の正誤問題

【日本語】

654	○	車両が国道で故障或いは事故を起こし、負傷者がなく、且つ車両が走行できる場合、後続車に追突されるのを防止するためにも、車を路肩に移動し、搭乗者は全員車から降り、路肩に留まらず、ガードレールの外或いは安全な場所で救援を待つべき。後方の車両が注意できるよう、ハザードランプなどで警告措置をすること。
655	○	2023年6月30日から、新たに試験を受けて取得した自動車運転免許で原動機付自転車を運転することはできない。